

カーボンニュートラルへの取り組みを推進

大型天然ガストラックの運行

カーボンニュートラルとは

温室効果ガス排出量をできるだけ削減し、削減できなかった温室効果ガスを吸収または除去することで実質ゼロにすることです。

CO₂だけに限らずメタン、N₂O（一酸化二窒素）、フロンガスを含む「温室効果ガス」を対象としていること、排出量から吸収量と除去量を差し引いた合計＝「全体としてゼロにする」、という2点が大きなポイントになります。



天然ガストラックとは

天然ガス自動車（NGV）は、SO_x（硫黄酸化物）や粒子状物質をほとんど排出しません。さらに、NO_x（窒素酸化物）やCO₂（二酸化炭素）の排出が少ない環境特性に優れた車です。

燃料である天然ガスは、高圧（20MPa）に圧縮され、自動車のガス容器に充填されています。ガス容器から燃料配管を通して減圧弁を介してエンジンに供給されます。

化石燃料(石炭・石油・天然ガス)を燃やしたときに発生する物質の比較(石炭=100)

	CO ₂ 二酸化炭素	NO _x 窒素酸化物	SO _x 硫黄酸化物
天然ガス	60	40	0
石油	80	70	70
石炭	100	100	100

資料：資源エネルギー庁「エネルギー白書2013」



カーボンニュートラルへの取り組みの一環として大型天然ガストラックを導入

仕様

メーカー	いすゞ自動車株式会社	
車両の名称	ギガ (QFG-CYL78B)	
駆動方式	6×2	
全長 (mm)	11,800	
全幅 (mm)	2,490	
全高 (mm)	3,730	
最大積載量 (kg)	13,000	
総排気量 (cc)	9,839	
最高出力 (kW(PS)/rpm)	243(330)/1,800	
最大トルク (N・m(kgf・m)/rpm)	1,390(142)/1,200-1,400	
1充填走行	距離 (km)	約600
	モード	高速
燃料容器容量 (ℓ)	1,080 (約216Nm ³)	



走行試験

条件

- 計測期間： 2017年10月2日～10月27日
- 積載量： 往路（関西→関東）約7トン
- 走行区間： 関西→関東 4往復
- 復路（関東→関西）約3トン

	天然ガストラック	ディーゼLTRACK
型式	QFG-CYJ78B	QKG-CYJ77B
積算走行距離	4,694km	4,610km
積算燃料使用量	1,078m ³	1,079ℓ
平均燃費	4.3555km/m ³	4.272km/ℓ
CO ₂ 排出量	526 g-CO ₂ /km	604 g-CO ₂ /km
CO ₂ 削減率	▲12.9%	【比較対象】

資料：日本ガス協会「天然ガス自動車の普及に向けて」(2021年8月)



大阪ガス様コラボ車両



シェル「リムラR6」ディーゼルエンジンオイルを使用

シェルブリカンツジャパン様が取り扱うムラブランドの中でも最上級の全合成ディーゼルエンジンオイル「リムラR6 LM-J10W-40」を全車両に使用しています。長期にわたりエンジン内部をクリーンに保つ事が出来るため、エンジン部品の表面摩耗を防止し、エンジンの長寿命化が実現します。またカーボンニュートラルブリカンツの対象商品となっています。「カーボンニュートラルブリカンツ」とは、潤滑油のライフサイクルで発生するCO₂のうち「回避」または「削減」だけでは補えない排出量を自然由来のCO₂クレジットに相殺（オフセット）する取り組みです。トラックにも環境にも配慮した優しいエンジンオイルです。